



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名 丸紅建材リース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9763 URL <http://www.mcml-maruken.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)清水 教博
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経営管理本部長 (氏名)齊藤 正視 (TEL) 03(5404)8200
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,562	△1.9	385	27.7	612	66.5	560	70.1
24年3月期第3四半期	12,808	1.0	302	—	367	—	329	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 591百万円(32.8%) 24年3月期第3四半期 445百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	16.78	—
24年3月期第3四半期	9.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	28,746	8,252	28.7
24年3月期	28,824	7,731	26.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 8,252百万円 24年3月期 7,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	0.8	350	36.7	550	43.2	500	48.4	14.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期3Q	34,294,400株	24年3月期	34,294,400株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	929,080株	24年3月期	902,653株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期3Q	33,387,614株	24年3月期3Q	33,394,199株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として緩やかながら回復の動きが見られる中、欧州債務問題や新興国経済の減速などにより依然として先行きが不透明な状況で推移しましたが、自民党新政権による経済対策への期待感が高まってきました。

当社グループを取り巻く建設業界におきましては、震災復旧・復興関連事業が進捗し、首都圏においても再開発・インフラ整備等の大型プロジェクトが進行している一方、その他地域での公共投資や民間設備投資は低迷しており、全体としては依然として厳しい環境が続きました。

このような経営環境のもと、当社グループは、国内では地域毎の保有鋼材の最適化に努め、採算管理の徹底による原価の低減や賃貸価格の適正化に取り組み、海外ではタイ丸建株式会社を軸として東南アジア市場への展開に注力し、収益基盤の強化を図りました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高125億6千2百万円（前年同四半期比2億4千6百万円、1.9%減）、営業利益3億8千5百万円（同8千3百万円、27.7%増）、経常利益6億1千2百万円（同2億4千4百万円、66.5%増）、四半期純利益5億6千万円（同2億3千万円、70.1%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①重仮設事業

賃貸稼働量は前年同四半期比微増となったものの、販売物件の減少により、売上高は99億1千3百万円（前年同四半期比5億5千1百万円、5.3%減）、セグメント利益は7億2千9百万円（同3千2百万円、4.2%減）となりました。

②重仮設工事事業

受注工事案件の小口化や大口工事案件の着工遅れにより、売上高は12億2千1百万円（同1億7千9百万円、12.8%減）となりましたが、利益率の改善によりセグメント利益は0百万円と、前年同四半期の6千9百万円のセグメント損失から7千万円の改善となりました。

③土木・上下水道施設工事等事業

官庁関係工事の受注物件が増加したため、売上高は14億3千6百万円（同4億9千3百万円、52.4%増）、セグメント利益は6千1百万円（同3千9百万円、176.1%増）と増収増益となりました。

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と必要な調整を行っております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の資産の部は、建設機材の減少額3千2百万円などにより、前期末比7千7百万円減の287億4千6百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金の減少額2億1千1百万円、借入金の減少額3億6百万円などにより、前期末比5億9千8百万円減の204億9千4百万円となりました。

純資産の部は、四半期純利益5億6千万円の計上などにより、前期末比5億2千万円増の82億5千2百万円となり、自己資本比率は1.9ポイント増の28.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成24年10月31日公表の平成25年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,287	1,276
受取手形及び売掛金	6,776	6,821
建設機材	8,771	8,738
商品	29	52
材料貯蔵品	303	287
未成工事支出金	238	66
その他	286	153
貸倒引当金	△86	△71
流動資産合計	17,607	17,324
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,105	8,105
その他(純額)	1,150	1,173
有形固定資産合計	9,256	9,278
無形固定資産		
	6	4
投資その他の資産		
その他	2,324	2,546
貸倒引当金	△369	△407
投資その他の資産合計	1,954	2,139
固定資産合計	11,217	11,422
資産合計	28,824	28,746

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,850	5,638
短期借入金	9,112	9,740
未払法人税等	34	61
引当金	15	13
その他	1,345	1,260
流動負債合計	16,358	16,714
固定負債		
長期借入金	3,269	2,335
引当金	283	193
その他	1,182	1,251
固定負債合計	4,735	3,779
負債合計	21,093	20,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	2,603	3,096
自己株式	△125	△128
株主資本合計	6,053	6,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	48
土地再評価差額金	1,830	1,830
為替換算調整勘定	△179	△170
その他の包括利益累計額合計	1,677	1,708
純資産合計	7,731	8,252
負債純資産合計	28,824	28,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	12,808	12,562
売上原価	11,013	10,647
売上総利益	1,795	1,914
販売費及び一般管理費		
役員報酬	102	104
給料手当及び賞与	689	697
福利厚生費	147	151
地代家賃	142	128
退職給付費用	50	60
その他	362	386
販売費及び一般管理費合計	1,493	1,529
営業利益	302	385
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	7
持分法による投資利益	133	214
貸倒引当金戻入額	6	—
訴訟損失引当金戻入額	—	61
その他	28	32
営業外収益合計	176	317
営業外費用		
支払利息	93	78
その他	17	12
営業外費用合計	111	90
経常利益	367	612
特別利益		
投資有価証券売却益	0	0
固定資産売却益	—	9
特別利益合計	0	9
特別損失		
投資有価証券売却損	0	—
訴訟損失引当金繰入額	12	—
特別損失合計	12	—
税金等調整前四半期純利益	356	621
法人税、住民税及び事業税	24	60
法人税等還付税額	△47	—
法人税等調整額	49	0
法人税等合計	26	61
少数株主損益調整前四半期純利益	329	560
四半期純利益	329	560

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	329	560
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	21
土地再評価差額金	157	—
持分法適用会社に対する持分相当額	△33	9
その他の包括利益合計	115	31
四半期包括利益	445	591
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	445	591
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,464	1,401	942	12,808	—	12,808
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,464	1,401	942	12,808	—	12,808
セグメント利益又は損失(△)	761	△69	22	714	△412	302

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△412百万円は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,904	1,221	1,436	12,562	—	12,562
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	—	—	8	△8	—
計	9,913	1,221	1,436	12,571	△8	12,562
セグメント利益	729	0	61	791	△406	385

(注)1 セグメント利益の調整額△406百万円は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。